下知を加今度真田相拘候
の城を取表裏仕之上ハ北条被成
も對面候ても従往一度生害助命
不可有之事

一 秀吉若輩之時孤と成て信長公属
幕下身を山野に捨骨を海岸に
砕干戈を枕とし夜ハにねて夙に
起て軍忠をつくし戦功をはけます
然而中比より君恩を蒙人に名を知らる
因茲西国征伐之儀被仰付對大敵争
雌雄之刻明智日向守光秀以無道之故奉討
信長公此注進を聞届弥押詰任存分
不移時令上洛逆徒光秀伐頭報
恩雪會稽其後柴田修理亮勝家
信長公之厚恩を忘国家を乱し叛
逆之条是又令退治訖此外諸国叛者
討之降者近之無不属麾下就中秀吉
一言之表裏不可有之以此故相叶天命者哉
予既挙登龍揚鷹之誉成塩梅則
闕之臣関万機政然処氏直背天
道之正理對帝都企奸謀何不蒙天罰哉
古諺云巧詐不如拙誠所詮普天下逆

豊臣秀吉条書　天正17年11月24日　（諸家単一文書）　文庫12-88　-03
早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library